

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	84	部名	都市建設部	課・所・室名	まちづくり推進課	係名	交通政策係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(1)福祉のまちづくりの推進					
	施策(中柱)	①総合的なまちづくりの推進					
	施策内容	②交通安全施設の整備					
	事業概要	点字誘導ブロックや音声誘導装置、反射鏡、道路照明灯などの設置を促進します。 また、交通量や横断者の多い道路については、障害のある人の安全性にも配慮しながら、信号機の設置などについても、働きかけを行います。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	道路反射鏡を設置する。 警察庁が制定した「信号機設置の指針」の条件を満たした箇所について、信号機設置の要望を行う。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
道路反射鏡設置数(基)	目標値	10	10	10	10	10	10
	実績値	9					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	道路反射鏡においては目標値を下回っているが、要望があった場所の内、設置が可能な場所へ設置を行った。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	信号機の設置は警察の所管になるが、要望内容の実現まで時間を要している。
今後の取り組み方針	引き続き警察と連携を図りながら交通安全対策を推進する。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	85	部名	都市建設部	課・所・室名	まちづくり推進課	係名	交通政策係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(1)福祉のまちづくりの推進					
	施策(中柱)	①総合的なまちづくりの推進					
	施策内容	③路上放置物等障害物の解消					
	事業概要	障害のある人が安心して街中を歩ける交通環境を整備するため、放置自転車や障害物の撤去を行うとともに、駅前での駐輪及び駐車について指導の充実に努めます。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	放置自転車の撤去を行う。 放置自転車等対策指導員による自転車利用者への啓発及び指導を行う。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
放置自転車撤去台数(台)	目標値	100	100	100	100	100	100
	実績値	104					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	令和6年度は事業者の提案により撤去1回当たりの作業エリアを拡大したことにより、撤去台数が増加し目標値を達成できなかったものの、対策指導、撤去業務を計画どおり実施することができた。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	特になし。
今後の取り組み方針	近年における放置自転車撤去台数の減少傾向を受け、令和7年度より対策指導業務を廃止するとともに、撤去回数を減少するが、引き続き状況を注視していく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	86	部名	都市建設部	課・所・室名	まちづくり推進課	係名	交通政策係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(1)福祉のまちづくりの推進					
	施策(中柱)	①総合的なまちづくりの推進					
	施策内容	④交通安全運動の実施					
	事業概要	交通安全の普及・啓発活動として、交通安全運動(年4回)を実施し、交通事故による障害の発生を未然に防止します。また、この交通安全運動と運動して、広報紙や学校などを通じて交通安全の啓発を行います。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	交通安全運動期間中に街頭啓発活動を実施する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
交通死亡事故件数(件)	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	2					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	年4回の交通安全運動期間中の街頭活動に加え、道路反射鏡や区画線等の工事を実施することで、市内の交通安全対策の推進を図った。 残念ながら、R6年度は死亡事故が2件発生したことから、目標達成に向け、さらなる啓発活動の推進に努める。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	交通安全協会など、啓発活動を協力していただく担い手を増やしていくことが課題となっている。
今後の取り組み方針	引き続き、朝霞警察署等の関係機関と連携し、各種交通安全啓発活動を実施していく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	87	部名	総務部	課・所・室名	財産管理課	係名	財産管理係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(1)福祉のまちづくりの推進					
	施策(中柱)	①総合的なまちづくりの推進					
	施策内容	⑤市の公共施設のバリアフリー化					
	事業概要	障害のある人を含め多くの人が利用する市の公共施設のバリアフリー化に努めます。また、新たに整備する施設については、ユニバーサルデザインの考え方に基づく整備を推進します。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	多くの方に安全で快適に公共施設を御利用いただくために、既存施設の大規模改修等に併せてバリアフリー化工事を実施する。また、施設の新築にあたっては、ユニバーサルデザインを取り入れるものとする。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
バリアフリー改修を実施する(新築を含む)公共施設の数(施設)	目標値	3	1	2	未定	未定	未定
	実績値	3					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	朝霞第六小学校増築工事、朝霞第九小学校増築工事では新築にあたり、ユニバーサルデザインを取り入れた。また、武道館耐震等改修工事を行い、埼玉県福祉のまちづくり条例に基づき、バリアフリー化工事を実施した。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	建物について、老朽化がみられ、修繕や工事等が必要な箇所が増えている。
今後の取り組み方針	公共施設マネジメント実施計画や施設点検などを踏まえ、計画的に工事を行っていく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	88	部名	都市建設部	課・所・室名	まちづくり推進課	係名	交通政策係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(1)福祉のまちづくりの推進					
	施策(中柱)	①総合的なまちづくりの推進					
	施策内容	⑥駅などの公共的施設等のバリアフリー化の促進					
	事業概要	駅などの公共的施設や大規模店舗などの集客施設については、その事業者に対して障害のある人が利用しやすい施設となるように、バリアフリー化を要請します。 特に、多くの人が利用する駅については、エレベーターや車いす対応のエスカレーターを設置などを促進します。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	鉄道事業者に対し、沿線自治体で組織する協議会を通じ、エレベーターの設置やホームからの転落防止対策の実施を要望する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
武蔵野線旅客輸送改善対策協議会及び東武東上線改善対策協議会での要望(回)	目標値	2	2	2	2	2	2
	実績値	2					
取り組み・進捗状況及び自己評価	朝霞台駅及び北朝霞駅へのホームドア設置について、鉄道事業者に要望を行った。 令和7年3月28日(金)初列車より、朝霞台駅において新設工事中的エレベーター4基のうち3基(朝霞台駅北口1基・改札内2基)、エレベーター専用改札口及びバリアフリートイレが供用開始された。なお、残りの1基(朝霞台駅南口)については令和7年度中に供用開始予定となっている。						
	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	朝霞台駅、北朝霞駅は利用者が大変多いことから、早期のバリアフリー化実現が望まれている。
今後の取り組み方針	鉄道駅のバリアフリー化推進のため、引き続き鉄道事業者に要望を行う。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	89	部名	学校教育部	課・所・室名	教育総務課	係名	学校施設係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(1)福祉のまちづくりの推進					
	施策(中柱)	①総合的なまちづくりの推進					
	施策内容	⑦小・中学校におけるバリアフリー化					
	事業概要	新しく整備する学校については、ユニバーサルデザインの考え方に基づく整備を推進します。また、既存の校舎や体育館については、大規模改修時にあわせてバリアフリー化に努めます。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	・第六小学校校舎増築工事において、施設のバリアフリー化及び多目的トイレを新設する。 ・第九小学校校舎増築工事において、施設のバリアフリー化及び多目的トイレを新設する。 ・既設小学校の屋外トイレにおいて、和式トイレから洋式トイレへの改修を行う。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
小中学校のバリアフリー化設備等の設置・改修箇所数(箇所)	目標値	6	6	6	6	6	6
	実績値	8					
取り組み・進捗状況及び自己評価	第六小学校及び第九小学校の校舎増築工事において、増築校舎に乗用エレベーターや多目的トイレを設置したほか、学校全体で段差解消等のバリアフリー化工事を行った。 小学校6校(二小、六小、七小、八小、九小、十小)の屋外トイレにおいて、和式便器から洋式便器への改修工事を行った。						
	A	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	学校施設は築年数が古いものも多く、乗用エレベーターの設置など、学校施設全体での改修検討が必要となる。
今後の取り組み方針	児童・生徒の状況に合わせた施設改修を適宜行うとともに、大規模改修時にあわせて学校全体のバリアフリー化を実施するよう努める。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	90	部名	都市建設部	課・所・室名	みどり公園課	係名	みどり公園係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(1)福祉のまちづくりの推進					
	施策(中柱)	①総合的なまちづくりの推進					
	施策内容	⑧公園の整備					
	事業概要	公園については、障害のある人用のトイレ(バリアフリートイレ)、スロープ、車止めなど、障害のある人に配慮した附帯施設の整備、改修を推進します。 また、住民に憩いと安らぎの場を提供する公園を整備します。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	都市公園の新設や既存施設を改修する際には、バリアフリー化に資する工事を実施するとともに、適切に管理・運営を行う。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
公園施設のバリアフリー化に係る工事等実施件数(件)	目標値	2	1	3	3	3	3
	実績値	2					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	令和5年度にバリアフリー化やユニバーサルデザインを取り入れた設計を行ったみやど公園及びまぼりひがし公園について、令和6年度に整備工事を行った。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	開設してから10年以上経っている公園が多数あり、計画的に既存公園のバリアフリー化を進めていくことが課題となっている。
今後の取り組み方針	公園を適切に管理・運営するとともに障害のある人に配慮した整備を行っていく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	91	部名	こども・健康部	課・所・室名	健康づくり課	係名	保健係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(2)保健・医療サービスの充実					
	施策(中柱)	①保健サービスの充実					
	施策内容	①健康診査の充実					
	事業概要	健康の保持と疾病予防や疾病(障害)の早期発見のため、妊婦・乳幼児健康診査、がん検診など各種健康診査の充実を図ります。 また、健診を通じた専門相談の充実を図ります。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	乳幼児健診(4か月児、10か月児、1.6歳児、3歳児)を月2回						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
乳幼児健康診査実施回数(回)	目標値	96	96	96	96	96	96
	実績値	96					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	乳幼児の各健診を実施し、問診や医師による診察により、疾病の予防や早期発見に努めている。また、相談においても専門スタッフが対応することで必要な機関等への連携等も図れている。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	より精度の高い健診にしていくと共に、必要なフォローに確実につなげられるよう、相談スキル等の向上を図る。
今後の取り組み方針	現在の取組を継続。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	92	部名	こども・健康部	課・所・室名	健康づくり課	係名	保健係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(2)保健・医療サービスの充実					
	施策(中柱)	①保健サービスの充実					
	施策内容	②健康相談の充実					
	事業概要	健康の保持増進を図るため、育児相談、健診後の健康相談及び栄養相談などの健康相談を充実します。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	【母子保健】 発育発達相談 【精神保健】 精神保健福祉相談、電話・来所による随時相談						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
精神保健福祉相談 実施回数(回)	目標値	12	12	12	12	12	12
	実績値	11					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	精神科医や精神保健福祉士による専門相談を実施し、市民に対して心身の健康に関する指導及び助言を行い、健康の保持増進を図ることができた。今後も随時各種相談に対応すると共に事業周知の工夫や個別ケースへの声掛け等行っていきいたい。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	精神面の健康に不安等を抱える本人や家族等が利用できるよう、効果的な周知方法を検討し、健康の保持・増進を図っていく。
今後の取り組み方針	引き続き、より効果的な周知方法を検討し、利用促進に努めると共に、健康の保持・増進を図っていく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	93	部名	こども・健康部	課・所・室名	健康づくり課	係名	保健係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(2)保健・医療サービスの充実					
	施策(中柱)	①保健サービスの充実					
	施策内容	③訪問指導の実施					
	事業概要	来所での相談が困難な方(母子、成人、高齢者、障害のある人など)に対して家庭訪問による保健指導を実施します。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	精神障害者やその家族、精神的に不健康な状態にある者に対して訪問し、精神障害者の社会参加及び生活自立の促進を図り精神保健福祉の推進を図る。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
精神訪問指導の実施(件数)	目標値	5	5	5	5	5	5
	実績値	5					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	精神障害者やその家族、精神的に不健康な状態のある者に対し、訪問にて相談や助言を行うことで、地域で生活していくための自立に向けた支援を実施できた。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	必要な人が必要なときに相談ができるよう、相談先を周知していく必要がある。
今後の取り組み方針	今後も、広報、ホームページ等で相談先の周知を図るとともに、相談があればその都度対応していく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	94	部名	こども・健康部	課・所・室名	健康づくり課	係名	保健係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(2)保健・医療サービスの充実					
	施策(中柱)	①保健サービスの充実					
	施策内容	④発育発達相談の実施					
	事業概要	発育や発達障害の早期発見・早期支援のため、専門相談を実施することにより、子どもの早期療育を推進し、適切な支援につなげます。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	①発育発達相談(精神) 〈対象〉主に精神運動発達面の遅れや問題がある児とその親、〈内容〉小児神経専門医師による精神運動発達に関する相談 ②発育発達相談(心理) 〈対象〉主に精神発達面や虐待等により心理面・行動面に問題がある児、〈内容〉心理士による親への相談、発達検査 ③発育発達相談(身体) 〈対象〉乳幼児健康診査等で把握された、身体発育および運動発達に心配のある乳幼児〈内容〉医師・保健師・栄養士による発育発達に関する相談						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
すこやか相談実施回数(回)	目標値	6	6	6	6	6	6
	実績値	6					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	①発育発達相談(精神) R6年度は11回実施 ②発育発達相談(心理) R6年度は心理相談を36回と心理検査9回実施 ③発育発達相談(身体) R6年度は6回実施 精神、心理、身体それぞれの発達相談を実施し、専門スタッフによる相談や検査、必要に応じて専門機関への紹介等を行っている。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	保護者自身も発達障害や精神疾患等を抱えているケースも多く、支援が難しいこともある。
今後の取り組み方針	適切な時期に利用できるよう引き続き事業を継続していく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	95	部名	福祉部	課・所・室名	障害福祉課	係名	障害福祉係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(2)保健・医療サービスの充実					
	施策(中柱)	①保健サービスの充実					
	施策内容	⑤医療的ケア児コーディネーターの活用					
	事業概要	医療的ケア児の把握に努め、必要なニーズに沿って適切な関係機関との調整を図っていきます。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	医療的ケアが必要な児に対して、医療的ケア児コーディネーターを配置し、保健、医療、福祉、保育、教育等の各関係機関が連携を図るための協議の場を設定する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
医療的ケア児の関係機関等が連携を図るための協議の実施回数(回)	目標値	2	2	2	2	2	2
	実績値	4					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	自立支援協議会専門部会(こども部会)の中で、各関係機関との情報共有等を行い、医療的ケア児のニーズや地域の課題について協議している。令和6年度は2回実施。計画相談支援専門員が医療的ケア児等コーディネーターを兼ねており、自立支援協議会専門部会(こども部会)の委員としても委嘱されている。併せて、令和6年度は「医療的ケア児等コーディネーター連絡会」を1回実施し、コーディネーター間の情報共有、今後の活動について考える場とした。また、その中で実際の医療的ケアを把握したいという希望が上がり、関係機関を交えて勉強会を1回実施した。						
	B	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	自立支援協議会専門部会(こども部会)の中で、継続的にニーズや地域課題等を拾い上げている仕組みを保っていく。各関係機関とも連携し、医療的ケア児の全数把握に努める。医療的ケア児等コーディネーターの定期的な連絡会の実施とスキルアップのための取り組みの検討が必要である。
今後の取り組み方針	各関係機関と連携し、医療的ケア児が必要なサービス・支援を受けることができるよう検討する。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	96	部名	こども・健康部	課・所・室名	健康づくり課	係名	予防係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(2)保健・医療サービスの充実					
	施策(中柱)	②医療サービスの充実					
	施策内容	①地域医療体制の充実					
	事業概要	障害のある人が地域の中で必要な医療が受けられるように、医師会の協力を得ながら保健、福祉との連携を強化した地域の医療体制づくりを進めます。特に、重度障害や精神障害など、障害の状況に応じた適切な医療の確保に努めます。また、関係機関との連携を図りつつ、在宅当番医制、休日夜間診療、病院群輪番制、小児救急医療や精神科救急医療など、緊急時の医療体制の充実を図ります。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	・地域医療を側面的に支援するため、朝霞地区医師会・朝霞地区歯科医師会・朝霞地区看護専門学校に補助金を交付。 ・朝霞地区医師会に保健事業や予防接種事業、朝霞地区歯科医師会に歯科保健事業の協力を依頼し、事業を実施。 ・保健センターガイドに市内医療機関を掲載。 ・初期救急医療として、在宅当番医制運営事業を実施。 ・第二次救急医療として、小児救急医療支援事業及び病院群輪番制病院運営事業を実施						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
救急医療体制(小児救急医療支援事業・病院群輪番制病院運営事業)実施率(%)	目標値	100	100	100	100	100	100
	実績値	100					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	すべての事業が計画どおりに進んでいる。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	今後も継続して事業を実施する必要がある。
今後の取り組み方針	今後も継続して事業を実施する。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	97	部名	福祉部	課・所・室名	障害福祉課	係名	障害給付係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(2)保健・医療サービスの充実					
	施策(中柱)	②医療サービスの充実					
	施策内容	②医療関連サービスに係る経済的支援					
	事業概要	自立支援医療(更生医療・育成医療・精神通院医療)や療養介護、重度心身障害者医療費助成、指定難病医療給付(県事業)など、各種の医療給付の実施により、経済的支援を行います。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	医療給付により本人負担を軽減する。また制度の普及により、障害をお持ちの方が医療を受けやすい環境を整える。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
重度心身障害者医療費支給件数(件)	目標値	43,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000
	実績値	45,354					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	令和6年10月より、後期高齢者医療保険加入者への現物給付による助成を開始したことで、利便性が向上し、医療を受けやすい環境を整えることができた。						
	A	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	現物給付等を開始したことによって受給機会を創出することができたと考えられるため、今後も医療が必要な助成対象者が適正に受診できるように制度を継続していく必要がある。
今後の取り組み方針	引き続き対象者への案内や周知を行っていく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	98	部名	危機管理室	課・所・室名	危機管理室	係名	危機管理係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(3)安心な暮らしの確保					
	施策(中柱)	①防災・防犯体制の整備					
	施策内容	①防災意識の啓発					
	事業概要	広報紙、防災啓発冊子などにより、防災に関する広報・普及活動を行うとともに、講演会の実施や地域の防災訓練を支援し、障害のある人を含む市民の防災意識の高揚を図ります。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	防災啓発イベントを実施する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
防災啓発イベント実施回数	目標値	2回	2回	2回	2回	2回	2回
	実績値	2回					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	朝霞市民まつりにおける防災展や、くみまちモールあさかにおいて防災フェアを実施し、模擬避難所の展示や災害協定機関の紹介等を通じて、幅広い世代の市民の防災に関する知識の習得及び防災意識の高揚につながった。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	防災に関する広報・普及活動に当たっては、広報、ホームページ、メール、SNS等、多種多様な媒体があるため、効果的な情報発信方法を検討する必要がある。
今後の取り組み方針	市全体の防災意識の高揚を図れるよう、情報発信に当たっては、特定の広報媒体に偏らないように留意する。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	99	部名	福祉部	課・所・室名	障害福祉課	係名	障害福祉係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(3)安心な暮らしの確保					
	施策(中柱)	①防災・防犯体制の整備					
	施策内容	②災害時における障害のある人への支援の充実					
	事業概要	災害時の緊急情報をメールや防災行政無線等により伝達するとともに、自力で避難できず、特別な支援が必要な人については、避難行動要支援者名簿及び避難行動要支援者台帳の活用や個別避難計画の見直しなど避難時等に十分配慮するよう努めます。 社会福祉施設などを障害のある人の福祉避難所として協定を締結し、活用するよう努めます。 また、福祉避難所の開設、移送、運営について訓練を行い改善を図っていきます。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	・避難行動要支援者台帳の内容を更新し、自治会・町内会、民生委員児童委員等の避難支援者に配付する。 ・避難支援者に対する支援体制を強化するため、庁内連絡会を開催する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
避難行動要支援者台帳の更新・配付	目標値	1回	1回	1回	1回	1回	1回
	実績値	1回					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	台帳に登録された情報は市の関係部課で共有するほか、消防署、警察署、社会福祉協議会、民生委員、自治防災組織、消防団に情報提供した。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	台帳登録してから内容の更新ができていない人がいる為、情報の更新が課題。
今後の取り組み方針	新たに台帳登録した方の情報を的確に情報提供し、支援体制づくりのために活用する。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	99	部名	危機管理室	課・所・室名	危機管理室	係名	危機管理係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(3)安心な暮らしの確保					
	施策(中柱)	①防災・防犯体制の整備					
	施策内容	②災害時における障害のある人への支援の充実					
	事業概要	災害時の緊急情報をメールや防災行政無線等により伝達するとともに、自力で避難できず、特別な支援が必要な人については、避難行動要支援者名簿及び避難行動要支援者台帳の活用や個別避難計画の見直しなど避難時等に十分配慮するよう努めます。 社会福祉施設などを障害のある人の福祉避難所として協定を締結し、活用するよう努めます。 また、福祉避難所の開設、移送、運営について訓練を行い改善を図っていきます。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	避難行動要支援者台帳について、1年に1回内容を更新し、自治会・町内会、民生委員児童委員等の避難支援者に配布するとともに、避難行動要支援者支援制度に関する啓発を行い、支援体制の強化を推進する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
避難行動要支援者台帳の更新・配布	目標値	1回	1回	1回	1回	1回	1回
	実績値	1回					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	避難行動要支援者台帳の内容を更新し、自治会・町内会、民生委員児童委員等の避難支援者に滞りなく配付した。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	災害時の円滑な支援につなげるため、避難行動要支援者台帳の更新・配布等、事業を継続していく必要がある。
今後の取り組み方針	引き続き、自治会・町内会、民生委員児童委員等の関係者と連携し、事業を推進していく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	100	部名	危機管理室	課・所・室名	危機管理室	係名	危機管理係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(3)安心な暮らしの確保					
	施策(中柱)	①防災・防犯体制の整備					
	施策内容	③近隣市等との連携					
	事業概要	災害発生時における近隣市や相互応援協定した自治体との連携の強化に努めるため、全庁的な取り組みを推進します。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	近隣市や災害時相互応援協定都市との連携体制の構築のため、日頃からの情報交換、災害発生時における安全確認等の連絡を密にするとともに、彩夏祭や農業祭等のイベント時においては、関係課と協力し、災害時相互応援協定都市との交流を深め、顔の見える関係を構築する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
災害時相互応援都市との交流	目標値	1回	1回	1回	1回	1回	1回
	実績値	1回					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	近隣市や災害時相互応援協定都市と、定期的な情報交換を行うとともに、防災フェアへのブース出展などを通して、顔の見える関係づくりに努めた。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	災害時の自治体を越えた連携は必要不可欠であるため、事業を継続していく必要がある。
今後の取り組み方針	現行事業を引き続き行っていく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	101	部名	危機管理室	課・所・室名	危機管理室	係名	危機管理係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(3)安心な暮らしの確保					
	施策(中柱)	①防災・防犯体制の整備					
	施策内容	④ボランティアの確保					
	事業概要	災害時に福祉活動に携わるボランティアを確保するよう、各種機関・団体と連携を図ります。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	自主防災組織等と連携して実施する小学校区防災訓練等において、社会福祉協議会等の各種機関・団体と連携し、防災対策に関する啓発を実施する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
小学校区防災訓練の実施	目標値	10回	10回	10回	10回	10回	10回
	実績値	10回					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	自主防災組織を対象に、市内小学校で避難所開設訓練を行い、地域対応班と自主防災組織の顔合わせ、地域対応班主導で実際に防災倉庫の備蓄品を使用した避難所の受付のロールプレイングなどを行い、参加者に対し防災に関する啓発を実施した。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	避難所運営に関しては、地域の防災力を高めるため、学校や事業者との連携について、検討していく必要がある。
今後の取り組み方針	従前の取り組みに加え、学校や事業者との連携を深める方法を検討していく。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート							
事業コード	102	部名	危機管理室	課・所・室名	危機管理室	係名	危機管理係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(3)安心な暮らしの確保					
	施策(中柱)	①防災・防犯体制の整備					
	施策内容	⑤地域ぐるみの協力体制の整備					
	事業概要	自治会や町内会単位の地域住民による自主防災組織づくりを進めるとともに、その活動への支援を行います。また、避難生活が長期化した際の自主防災組織を中心とした避難場所の運営体制についても確立を図ります。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	自主防災組織未結成の自治会・町内会に対する結成促進を行うとともに、自治会・町内会により構成された自主防災組織が行う防災訓練・防災倉庫設置・資機材整備等に対する補助金を交付し、災害時における地域の防災力を強化する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
地域自主防災活動等事業費補助金交付団体数	目標値	20	20	20	20	20	20
	実績値	26					
取り組み・進捗状況 及び 自己評価	自主防災組織未結成の自治会・町内会に対し、地域防災アドバイザーと協力して結成促進を行った結果、新たに3団体の結成につながった。また、自主防災組織に対し各種補助金を交付し、地域防災力の強化に努めた。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	防災意識の高まりにより、補助金の総額は増加傾向にあるため、限られた予算の中で、全ての団体の希望どおりに補助金を交付することが困難になってきている。
今後の取り組み方針	従前の事業を継続するとともに、予算額を踏まえた計画的な補助金の交付方法について、検討を行う。

第6次朝霞市障害者プラン 進行管理シート

事業コード	103	部名	危機管理室	課・所・室名	危機管理室	係名	危機管理係
掲載内容	基本目標	5 安心・安全な暮らしをつくる					
	基本施策(大柱)	(3)安心な暮らしの確保					
	施策(中柱)	①防災・防犯体制の整備					
	施策内容	⑥防犯環境の整備					
	事業概要	朝霞市防犯推進計画をもとに、障害のある人を含めすべての市民をひったくりや路上強盗などの街頭犯罪や侵入盗などの犯罪から守るため、市、市民及び事業者の防犯意識の高揚を図るとともに、防犯灯等の整備を進めます。また、障害のある人が犯罪に巻き込まれることのないよう、障害のある人や関係者、地域が一体となって防犯意識の向上に努めます。					

1 事業内容・成果・進捗状況等

事業内容	青色防犯パトロールカーの運行や朝霞わがまち防犯隊による地域の自主的な防犯活動の支援に努めるとともに、防犯灯の設置及び維持管理を適切に行うなどにより犯罪を起こさせにくい環境づくりを推進する。						
指標名	年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
青色防犯パトロールカーの運行(回)	目標値	243	242	241	243	242	245
	実績値	243					
取り組み・進捗状況及び自己評価	青色防犯パトロールカーの運行(243回)や朝霞警察署からの犯罪情報の提供、自治会・町内会等に対する各種補助金の交付等の各種施策を適切に実施し、犯罪を起こさせにくい環境づくりを推進した。						
	C	A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている。 B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている。 C 目標・計画どおりに成果があがっている。 D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった。 E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった。					

2 課題・今後の取り組み方針

課題	犯罪を起こさせにくい環境づくりを推進するために、事業を継続していく必要がある。
今後の取り組み方針	現行事業を引き続き行っていく。